

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 52-123840
(43)Date of publication of application : 18.10.1977

(51)Int.CI. G06F 15/16

(21)Application number : 51-041049 (71)Applicant : TOSHIBA CORP
(22)Date of filing : 12.04.1976 (72)Inventor : TATENO HARUO

(54) DATA PROCESSING

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve the processing efficiency by using the plural number of the data processing units independently or connectedly.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

特許第52-123840(2)
この制御装置¹はゲート¹⁰を介して連絡回路¹¹に接続され、制御装置¹は、
開回路¹²に接続される。また、制御装置¹は、
複数のデータ処理装置¹³と接続され、複数のデータ処理装置¹³は、
ゲート¹⁰に対してもゲート¹⁰及びモリコントローラー¹⁴、
ゲート¹⁰と接続して該装置¹³を
向上することが可能である。この場合、制御装置¹からゲート¹⁰
を介して出力される制御装置¹³へ、
目的とする。

以下本発明の詳細を図示の一実施例を参照し
て説明する。図2は2組のデータ処理装置¹³と接続された場合の実施例を示すも
ので、各データ処理装置¹³、20は、開回路¹²
と同様にモリコントローラー¹⁴、モリコ
ントローラー¹⁴と、処理装置¹³、20、
制御装置¹、24からなっている。そして、
処理装置¹³と処理装置¹³との間に、ゲー
ト¹⁰を介して送信回路¹⁵が接続される。こ
の送信回路¹⁵は処理装置¹³、20が合体し
て動作するに必要な處理回路を備えている。さ
らに、上記データ処理装置¹³、20間に、
両装置¹³、20に対し同一のプログラムに基
づいて共通制御を行う制御装置¹が設けられ、
上記の構成において、ゲート¹⁰を除く。

制御装置¹はトリガ信号H₁、H₂にて動作を
開始し、処理装置¹³、20、送信回路¹⁵に
開回路¹²の場合モリコントローラー¹⁴には必要なア
クセスがロードされる。上記のよう¹にゲート
G₁を全て閉じることによりデータ処理装置
13、20は、全く分離されて独立した状態と
なり、トリガ信号H₁、H₂によってデータ処
理装置¹³、20はそれぞれ各自でデータ処理
を行つ。モリコントローラー¹⁴は、モリコントローラー¹⁴にて共通に与え、お
まか、データ処理装置¹³、20を合体して
動作させる場合には、ゲートG₁を全て閉くと
共に、ゲートG₂を全て閉じる。モリコントローラー¹⁴にて合体して動作するアプロ
グラムをロードする。上記したより、2つの間に
じるごとにデータ処理装置¹³、20の動作が
禁止される。そして、ゲートG₁を全て閉くと
ときにデータ処理装置¹³、20間が連結回路¹⁶
を介して連絡されると共に、モリコントローラー¹⁴にて制御装置¹に対する制
御がデータ処理装置¹³、20によって行われる。すなわち、
この制御装置¹はゲート¹⁰を介して連絡回
路¹¹に接続され、制御装置¹は、
複数のデータ処理装置¹³と接続され、複数のデータ処理装置¹³は、
ゲート¹⁰に対してもゲート¹⁰及びモリコントローラー¹⁴、
ゲート¹⁰と接続して該装置¹³を
向上することが可能である。この場合、制御装置¹からゲート¹⁰
を介して出力される制御装置¹³へ、
目的とする。

⑨日本国特許庁	①特許出願公開	⑨公開特許公報	昭52-123840
⑥)Int. Cl. ^a	誠別記号	⑤日本分類	④公開 照和52年(1977)10月18日
C 06 F 15/16	97(7) H 1	6519-56	発明の数 1
②特 願 昭51-41049	③出願人 東京芝浦電気株式会社青梅工場内	④代理人弁理士 始江武彦 外2名	⑤検査請求有
②出願者 益野晴男	青梅市末広町2丁目9番地の1		(全3頁)

⑥データ処理方式

①発明の名称
データ処理方式
②特許請求の範囲
それらが担当されたプログラムに従つて決
定してデータ処理を行ふ複数個のデータ処理
装置と、これらのデータ処理装置間を制御指令
伝送する送信回路と、この送信回路と、この送信回路と、この送信回路と、この送信回路と、
して上記複数個のデータ処理装置を連結する場合、
各データ処理装置は別個のシーケンサとして接
続され、それらが別個のプログラムが用意られ、
連結した形での動作を行うことができなかつた。
③発明の詳細な説明
本発明は複数個のデータ処理装置を用いる場
合のデータ処理方式に属する。

本発明は従来におけるデータ処理装置の数据
解説を示すもので、1はデータを記憶するモ
モリ¹、2はこのモモリ¹を制御するモリコント
ローラ¹⁴、3は例えばレジスタ¹、アス、算术四則
等を備えてデータ処理を行ふ処理装置、4は列
形式にデータ処理装置でまとめて處
理させた方が良い場合、あるいは複数のデータ
処理装置にそれらが別々に処理
させた方が良い場合等がある。しかし、従来に
おいては上記したよう¹に複数のデータ処理装置
を連結した形で動作させることができないので、
仕事の形態に応じた複数の処理装置があつ
て、アーティファクツとして動作する。

以上述べた如くに本研究によれば、被験のデーター効用状態を設立あるいは連結した上で動作させることが、仕事の形質に応じてデーター効用状態の動作形態を説教することによりデーター効用率を向上し得るデーター処理方式を選択的に行なふことができる。

T H E C O M P A N Y.

図 2 図は本発明の一実施例を示す構成図で

卷之三

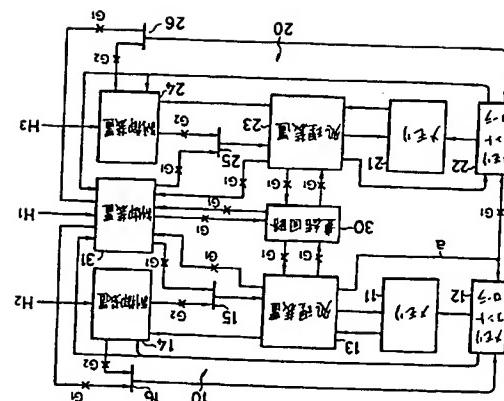


图 2-1

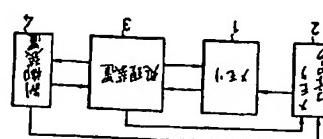


图 1-1